

我が校の強み弱み分析・評価シート

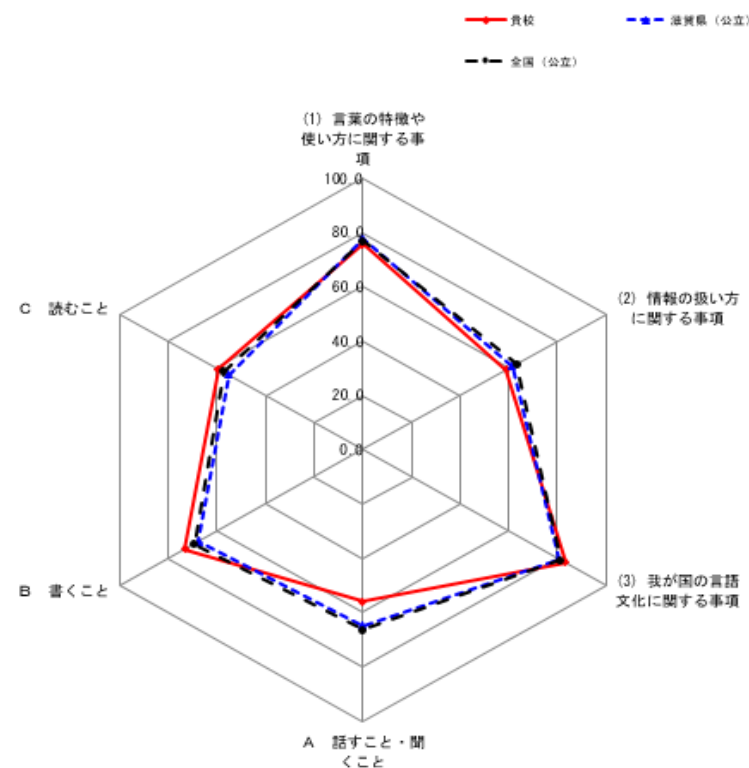
<全国学力学習状況調査2025年4月17日（6年生対象）による本校の強みと弱み>

○結果・分析評価

【国語】

国語科では、これまでの校内研究の成果が表れ、「書くこと」において全国平均を上回る結果となりました。書くことへの抵抗が少ない児童が増えており、自分の考えを文章で表現する力が着実に育っています。今後もこの力をさらに伸ばし、論理的な思考力や豊かな表現力を養っていきます。

一方で、「話すこと・聞くこと」や「情報の扱い方」に課題が見られました。これらは、国語の時間はもちろん、あらゆる学習や社会生活の土台となる力です。ご家庭でも、今日あった出来事について話し合ったり、対話の時間を大切にするなど、話す・聞く機会を意識的に作っていただけると幸いです。学校では、発表やグループでの話し合い活動を一層充実させ、子どもたちが自信を持って意見を伝え、互いに聴き合う力を育ててまいります。



【算数】

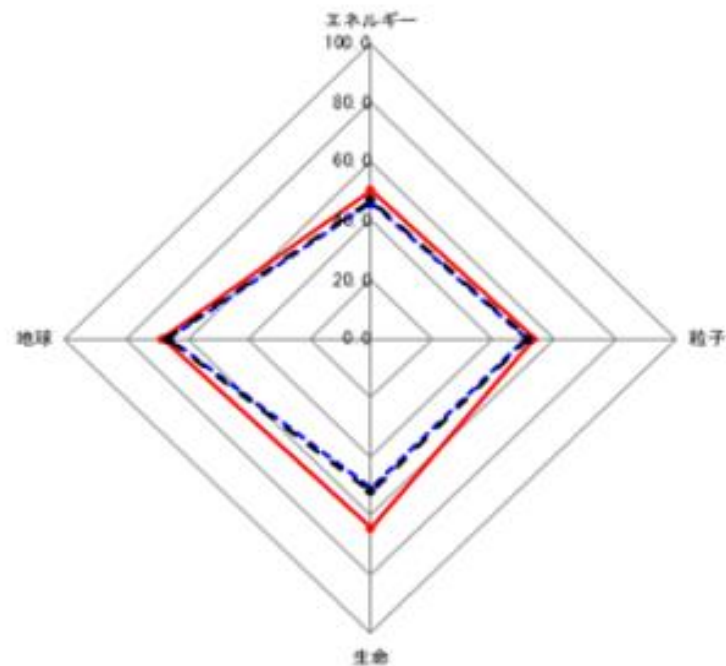
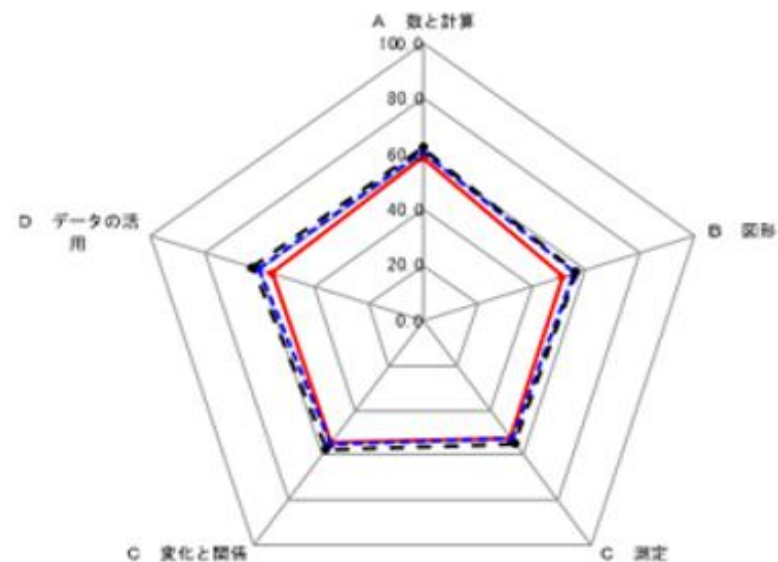
算数科では、残念ながら多くの領域で課題が見られました。特に、児童アンケートで「算数が好き」と答える割合が全国に比べて低く、学習意欲の向上が急務であると捉えています。「わからない」が「嫌い」につながる連鎖を断ち切り、一人ひとりの子どもが「わかった!」「できた!」という達成感を味わえるよう、授業改善に取り組んでまいります。

具体的には、個別指導の充実や算数の面白さを実感できる体験的な活動などを積極的に取り入れていく予定です。また、学習習慣の定着も課題の一つです。ご家庭でも、まずは短時間から机に向かう習慣づくりにご協力をお願いいたします。

【理科】

理科では、全ての項目で全国平均を上回る大変素晴らしい結果となりました。児童アンケートでも「理科が好き」「授業がよくわかる」と答える割合が高く、子どもたちの知的好奇心や探究心が高まっていることの表れだと大変うれしく思います。

これは観察・実験の時間を重視し、子どもたちの「なぜ?」「やってみたい!」という気持ちを大切にしてきた授業づくりの成果です。今後もこの強みをさらに伸ばし、科学的な思考力を育んでいきます。夏休みなどを利用して、地域の自然に触れたり、科学館を訪れたりするなど、ご家庭でも子どもたちの探究心を刺激する機会を設けていただければ幸いです。



【質問紙】

< 強み >

・ **高い向社会性**：「人が困っているときは、進んで助けていますか」や「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」といった質問に、全国平均と同等またはそれ以上の高い肯定的な回答が見られます。

・ **良好な友人関係と協調性**：「友だち関係に満足していますか」（肯定的な回答：90.4%）の割合が高く、「友だちや周りの人の考えを大切に、協力しながら課題解決に取り組んでいますか」（「当てはまる」：54.0%）の割合は全国平均（49.9%）を上回っています。仲間と協力して学ぶ力は学校の大きな財産です。

< 弱み >

・ **基本的生活習慣・学習習慣**：「朝食を毎日食べる」「毎日同じ時刻に寝る・起きる」といった基本的生活習慣の定着率が全国平均よりやや低く、平日の家庭学習時間が「30分より少ない」または「全くしない」児童の割合が全国平均と比べて高くなっています。学校でも「早寝・早起・朝ご飯」の推奨や、家庭学習の大切さを改めて伝えていきたいと思います。ご家庭でも、基本的生活習慣が定着するようご配慮いただけますと、子どもたちのより良い成長につながると考えられます。ご協力、よろしくお願いいたします。